

有識者意見	該当箇所	対応（案）
<p>愛知県の重要業績指標の目標レベルが低い。もう少し頑張った数値を示してもらいたい。</p> <p>特に、目標値と現状値とあるが、現状値と目標値が計画を達成するためにどのくらいの進捗なのか、現在値の場所がわからない。</p>	<p>KP1 全般</p> <p>素案 P28～ P68</p>	<p>※現時点で計画に示している重要業績指標は最終目標ではなく、当面実施すべき数値を示している。</p> <p>計画策定後、より詳細な現状の把握に努め、社会状況等を踏まえて重要業績指標を随時見直すものとする。</p>
<p>港湾はハードな整備とBCPが書いてあるが、空港は耐震強化のみとなっている。大規模災害に対して県営名古屋空港が機能するか気になる。</p>	<p>素案 P51</p> <p>素案 P105</p>	<p>※「耐震化」の他、「空港BCPの充実及び実効性の確保」について追記。</p> <p>（災害時の空港機能確保）</p> <p>○災害時に求められる必要な空港機能、輸送能力を確保する。</p> <p>○<u>空港機能確保のため耐震強化対策の他、災害時における運用面の充実及び実効性の強化を図る。</u></p> <p>※「耐震化」の他、「空港BCPの充実及び実効性の確保」について追記。</p> <p>○<u>県営名古屋空港の災害時における運用面の充実【2-1】【5-4】【8-4】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>大規模地震対策実施要領等の充実</u>

<p>都市構造の再編や土地利用に関して、コンパクト+ネットワークの記述があるが、いずれも検討するという書き方で末尾が締められている。その後の具体的な施策として表れてない。</p>	<p>素案 P80</p>	<p>※「第 5 章 5.1 強靱化施策の推進方針（⑩土地利用）」に次のとおり追記し、多核連携型のネットワークの形成を推進していく。</p> <p>（安全な地域づくり）</p> <p>○南海トラフ地震等の発生が懸念されている大規模地震の特性や地形地質条件等の特性を考慮し、施設そのものの被害の防止と土地利用に係る規制・誘導を柔軟に組み合わせ、復旧・復興段階をも事前に見据えて検討し安全な地域づくりを進める。</p> <p>○<u>災害に強い都市への再構築とともに、地域間が交通軸により結ばれた多核連携型のネットワークの形成を推進する。</u></p>
<p>構造物の老朽化対策は大きな課題であるが、それと同時に長寿命化も重要であるので、これについても記載があるとよいと思う。長寿命化ということで長いスパンで寿命の長い対策・施設を推進してほしい。名古屋市資料の 8 ページにアセットマネジメント推進について書いてあるが、推進していくところには念頭においていただくと良いと思う。</p>	<p>素案 P83</p>	<p>※施策方針（老朽化対策）として施設類型ごとの長寿命化計画について修正。</p> <p>（インフラ老朽化対策等の推進）</p> <p>○限られた財源の中で膨大な県有施設の老朽化に対応するため、愛知県公共施設等総合管理計画（平成 27 年 3 月策定（予定））とそれに基づく<u>施設類型ごとの長寿命化計画（個別施設計画）</u>の策定により、計画的で効率的な維持管理・更新等を推進する。</p>
<p>（このセルは上記の行と重複する内容のため、ここでは空欄として表示する）</p>	<p>素案 P119</p>	<p>※施設類型ごとの長寿命化計画について個別具体的施策（老朽化対策）に明記。</p> <p>○愛知県公共施設等総合管理計画（平成 27 年 3 月策定）の推進【1-1】【1-2】【1-3】【1-4】【1-5】【3-2】【3-3】【3-4】【6-2】【6-3】【6-4】【6-5】【7-4】[関係部局]</p> <p>・点検・診断等（基準類の整備、点検結果の収集・蓄積・活用等）</p> <p>（中略）</p> <p>・体制の構築（部局横断的組織の構築、管財・技術・財政の各部門の連携強化等）</p> <p>○<u>施設類型ごとの長寿命化計画（個別施設計画）の策定</u></p> <p>・施設類型：庁舎等、学校、県営住宅、空港、都市公園、下水道、道路、河川、海岸、砂防、港湾、漁港、<u>道路交通法上の工作物、水道、工業用水道、病院</u></p>

<p>県の素案の概要の脆弱性、広域連携の欄には「連携」のところで、愛知県内の連携について書いてあるのは良いが、他県との連携についても書くといいと思う。</p>	<p>概要 P4 素案 P84</p>	<p>※「第5章 5.1 強靱化施策の推進方針（④産学官民・広域連携）」に次のとおり追記し、関係都府県市と連携して様々な課題に取り組んでいく。</p> <p>（南海トラフ地震の関係都府県市との連携）</p> <p>○県域を越えた広域連携体制を確認するために、近隣県との連携による広域的な訓練など必要な取組を実施する。また、防災・危機管理に関する連絡会及び協議会等に参加することにより、関係都府県市との連携を密なものにするとともに、様々な課題について情報収集、情報交換を行い、相互の認識の共有化を図る。</p>
<p>民間のお金を使えるような仕組みを作ることが重要である。民間の力を引き出すような施策づくりについて書くと思う。</p>	<p>素案 P85</p>	<p>※「第5章 5.1 強靱化施策の推進方針（④産学官民・広域連携）」に次のとおり追記し、民間の活力を活用する各種の手法を検討する。</p> <p>（愛知県の強靱化に資する適切な民間資金の活用）</p> <p>○様々な主体との役割分担の中で、県が実施すべきとされた施策についても、民間の活力を活用する各種の手法を検討し、さらなる民間活力の導入を推進していく。</p>
<p>愛知県と名古屋市が連携して計画を作成しているの、県と名古屋市が一緒に行うことが書いてあると国に対して説得力がある。</p>	<p>素案 P86の 後に 追加</p>	<p>※名古屋市と連携して取り組む具体的な施策について、「5. 2 愛知県の強靱化のために優先的に取り組む施策」の後に「5. 3 愛知県と名古屋市が連携して取り組む施策」として追記。＜別紙参照＞</p>
<p>第6章でPDCAを回していけるような体制を記述したのはいいことであるが、それぞれの体制・役割の中で、PDCAの役割分担を明確にしたほうがいい。</p> <p>名古屋市と愛知県と一緒に行うことを記載する必要がある。今後の計画を相互で見直す場をどうつくるのかについて、具体的な調整の仕方等を細かく示すことが必要で、特に役割分担を分かりやすく示すことが重要である。</p>	<p>—</p>	<p>※計画推進の実務に取り組む中で、PDCAの役割分担や調整の仕方について有識者の方のご意見をいただきながら具体化してまいりたい。</p>

<p>県の素案における「自立」と「自律」について、どのように使い分けているか。</p>	<p>ー</p>	<p>※「自律・分散・協調」型の社会システムの機能の一部として表現する場合は、“自分自身で立てた規範に従って行動すること”を表現する「自律」とする。</p> <p>上記以外の「自立・分散型エネルギー」、「自立的な防災・復旧活動の体制整備」などについては、“独り立ちすること”を表現する「自立」を用いる。</p>
---	----------	---

※ 名古屋市と連携して取り組む具体的な施策について、「5. 2 愛知県の強靱化のために優先的に取り組む施策」(素案 P86)の後に「5. 3 愛知県と名古屋市が連携して取り組む施策」として次のとおり追記。

5. 3 愛知県と名古屋市が連携して取り組む施策

本計画の策定に当たっては、県・市で有効活用でき、より効果的な計画に結びつくよう名古屋市と連携し検討を行った。この地域の強靱化にあたっては、愛知県と政令指定都市である名古屋市が方針を共有し、効果的に連携や役割分担を行うことが必要である。以下に、愛知県と名古屋市が連携して取り組む施策例を示す。

<愛知県と名古屋市が連携して取り組む施策(例)>

- 住宅の耐震化の促進★【1-1】【7-3】
- 防災・減災カレッジの開催★【8-2】【8-3】
- 帰宅困難者等支援対策の推進【1-1】【2-5】
- 都市再生安全確保計画等の作成・運用【1-1】【1-6】【2-4】
- 河川・海岸堤防の耐震化等の推進★【1-3】【1-4】【7-2】【8-5】
- 道路ネットワークの整備【2-1】【2-3】【2-4】【2-6】【5-1】【5-2】【5-4】【6-4】
- 中部国際空港の機能強化【2-1】【5-1】【5-4】【6-4】【8-4】

など

今後、さらなる県市の連携・強化を図り、各地域の市町村間の協調・連携に係る取組もあわせて推進する必要がある。国土の強靱化に貢献するため、東京一極集中の是正や首都機能のバックアップなども考慮しつつ、圏域の防災力や自立性を高めるための拠点機能の充実、基幹インフラの着実な整備、人材・組織の育成及びネットワーク化などについて、名古屋市始め市町村間の相互に連携を強化しながら進めていく。